

ID ^{注1)}	221110	公開レベル ^{注1)}	B	保管形式 ^{注1)}	電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	161104		
報告書名称 /調査名称	令和3年度 静御殿植生調査							発行年月/報告年月			
								2022年		3月	
								資料形式 ^{注2)}		その他	
調査機関	環境省 東北地方環境事務所、弘前大学			委託機関							
調査開始年	2002年		調査期間	2021年		7月		～	2016年	7月	
調査頻度 ^{注2)}	— — —		調査時期 ^{注2)}	夏		—		—			
モニタリング計画	2012年3月 策定		区分 ^{注2)}	II B	大区分 ^{注2)}	1	小区分 ^{注2)}	(1)			
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法							
☒ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☐ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				<p>【1998年】第5回自然環境保全調査（環境庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数群落について植生調査 <p>【2000年】特定植物群落に指定（環境庁）</p> <p>【2002年～2010年】巡視による状況確認（環境省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の位置情報の記録 ・手書きによる位置図作成など <p>【2011年】</p> <p>「平成23年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務」（環境省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数地点での個体数の計数 ・簡易測量に基づく見取り図作成 <p>【2016年】特定植物群落追跡調査（弘前大学＋環境省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年に作成された見取り図をもとに9方形区を設定 ・方形区ごとの植生調査 ・1方形区に関しては場所が特定できなかった。 <p>【2017年】（弘前大学＋環境省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況確認（向白神岳ハイマツ調査を実施） <p>【2021年】（弘前大学＋環境省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規で1方形区を設定、計10方形区 ・方形区ごとの植生調査 ・ドローンによる空撮 							
結果概要（スペースに収まるように入力してください）											
<p>（1）植生調査（※希少種情報を含むため限定的記載）</p> <p>エゾノハナシノブについて分布域の減少がみられた。特に西側笹内川に面した3つの調査区では開花個体数の減少と被度の減少が観察された。一部では代わりにイネ科草本の被度が増加しており、立地の乾燥化の影響を受けている可能性が考えられる。今後も注意深く観察する必要がある。</p> <p>ミヤマアスマギクについて、シカ類による摂食が確認された。シカ類による被食は2016年以降の3回の調査で毎回確認されている。</p> <p>※GPSや写真などの記録により方形区の再設定を試みたが、調査区を復元することが困難な場所が存在した。僅かな地形の変化や植生変化が要因として考えられる。温暖化の影響を今後もモニタリングする必要がある。そのためには小さな杭などを利用して可能な限り調査枠を復元できるようにする工夫の検討が必要。</p>											
問い合わせ	<p>環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635</p> <p>≪原本（データ）の帰属について≫</p>										

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。